

第6期（2021年度）事業報告

1. 法人運営

2021年度の活動

日程	活動内容
4月	地域おこし協力隊支援業務受託契約（1日） アバディーンエコミュージアムプロジェクト（1月～） 清水沢まちあるき（24日） 宮前町イルミネーション撤収、ズリ山緊急整備（29日）
5月	ズリ山整備（22日） 清水沢アートパワープラント（22日～10月）※ただし6月20日までオープン延期
6月	夕張中学校特別支援学級ズリ山登山同行（2日） 北海学園大学オンラインレクチャー（8日） 社員総会（オンライン併用）（19日） 清水沢まちあるき（26日）
7月	栗山町地域おこし協力隊視察（2日） ズリ山草刈（3日） 夕張中総合学習講演（12日） 清水沢まちあるき（24日） 日本エコミュージアム研究会全国大会オンライン発表（25日）
8月	栗山町地域おこし協力隊視察受け入れ（20日） 北海学園大学夕張研修（23日）
9月	竹中琢視さん卒業論文調査サポート（～12月） 竹中さんオンライントークイベント（13日） 清水沢まちあるき（25日・市民限定） 新夕張駅40歳飾り付け（27日～10月3日）
10月	地域おこし協力隊活動報告会（14日）、細井退職（31日） 第89回鹿之谷ゼミナール「北炭夕張新炭鉱災害から40周年を迎えて」共催（15～17日） 夕張中1年生総合学習対応（21日） 夕張市民文化祭出展（23日～11月3日） 清水沢まちあるき（23日）
11月	オールド・トリー・コミュニティセンターオープンデイ（6日） りすたにグランドピアノ設置を求める請願書提出（19日） 清水沢まちあるき（27日） 宮前町イルミネーション設営（28日）
12月	こども食堂もちつき（19日） 清水沢まちあるき（25日）
1月	北海道子どもの貧困対策ネットワーク事業研修会in美唄市講演（19日・オンライン） 清水沢まちあるき（22日）
2月	竹中琢視さんオンライン発表会（2日） 清水沢まちあるき（26日）

日程	活動内容
3月	ハルニレプロジェクトすべり台贈呈式（22日） 清水沢まちあるき（26日）

※5月・8月の清水沢まちあるきは緊急事態宣言発出のため中止

清水沢エコミュージアム行動計画第1期・最初の3年が終わりました。新型コロナウイルス禍2年目となり、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返し発令される中で、なんとか新しい様式下での活動を興そうとしていた2020年度には遠く及ばない沈鬱状態にあったといえます。清水沢コミュニティゲートは開設5周年を迎えましたが、初めて滞在者がゼロとなりました。清水沢アートパワープラントも公開期間の半分以上がクローズとなり、「お客様を迎える」ということがすっかり非日常になってしまいました。

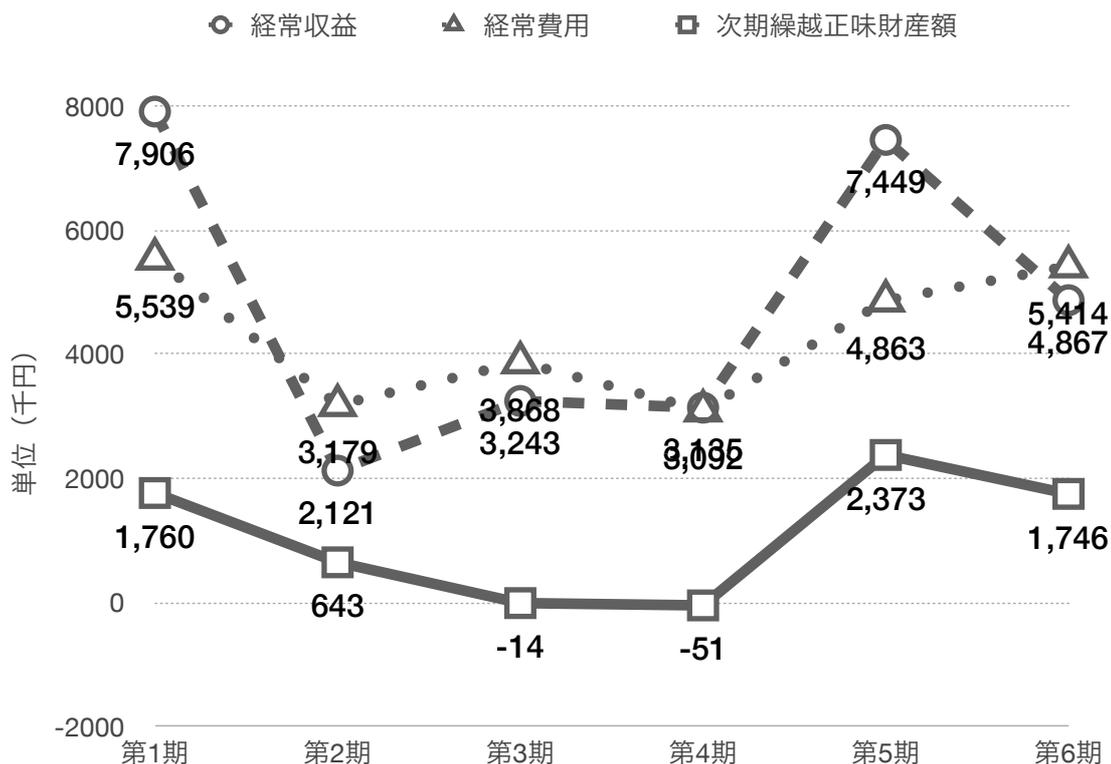
一方で、地域の中での活動が一層強固になった一年であったともいえます。「夕張市地域おこし協力隊(子ども・子育て支援部門)支援業務」という非常に大きな受託業務を抱えてスタートしました。4月から当法人で雇用した細井百さんは残念ながらご家庭の事情により10月末で退職し、それ以降協力隊員は空席が続いています。新たに定款に追加した「次世代に地域の誇りを継承する事業」には非常に大きな意義と手応えを感じましたが、担い手が不在の状況では手が回らない部門です。またこの事業の遂行で手一杯となり、停滞する他部門の事業をもり立てる余力がありませんでした。

支援事業の売上を除くと本来の事業収入がわずか30万円程度で、助成金の獲得もできず、当期の正味財産増減額は62万円の減となり、今年度も国の給付金の受給と昨年の繰越金によりしのぐことになりました。受託事業の関係で、税理士や人事労務管理サービスとの契約が発生したことで30万円近く管理費がかさんだことや、車両費などで代表理事の持ち出しが発生させなかったことなどが要因として挙げられます。一方で、11月以降の売上減が対象となる国の給付金（100万円）の受給を急がず新年度に繰越したのは、収益事業の欠損金55万円は次年度以降の黒字に対して繰越控除の対象になるため、節税を意識したものです。

非営利型法人である当法人が受託事業に左右されずに経営を安定させるためには、自主事業での収入を一定額確保した上で、計画的に助成金獲得に動かななくてはならないと、深く反省しています。そんな中、北海道労働金庫「つなぐプロジェクト」の寄付先団体に選定され、174,000円の使途自由の寄付金をいただくことができたのは大変ありがたいことでした。

会員数は、3月31日現在正会員10名、一般会員28名、賛助会員7組、合計45名・社・団体となっています。遠方の一般会員の方が増えてはいるものの、会費を1年納入しない方を退会としており、トータルでは頭打ち状態となっています。しかし会費の請求業務自体が滞ることもままあります。請求業務のルーティーン化や適切な時期の再請求の工夫などきちんと行うことも会員サービスと考え、実行していきたいと思えます。

この2年の停滞の間の活動は、もう少し時間が経過した後に評価すべきように思います。このような状況下でも、上木さん、須藤さんという頼もしい理事には、運営に多大なる尽力をいただきました。理事会（任意設置）という形式で集まることができなかつたのは課題ですが、今後それぞれの意見を運営に反映させていきたいと考えています。



経常収益・経常費用・繰越正味財産額の推移

会員数の推移

各事業の報告

(1) 炭鉱遺産の保存・活用・普及啓蒙・学術教育・調査研究に関する事業

旧発電所、ズリ山、宮前浴場等炭鉱遺産関係の事業、駅展覧会、ガイド・調査研究アテンド 等

旧発電所（清水沢アートパワープラント）

清水沢アートパワープラントは5月24日からの公開予定でしたが、緊急事態宣言のため6月20日まで休止しました。その後も8月18日～9月12日の期間も休止となるなど、10月30日までの会期の半分が休止となり、公開できた期間でもほぼ見学者の発地に制限を設けるなど、全く正常に行うことができませんでした。

昨年同様、受付を屋外で行う、トランシーバーを活用しガイドとお客様は同乗しないなど徹底的な感染防止対策を行い、見学コースを1日2回週4回、個人的な撮影コースを週1回と祝日のみの設定として実施しました。その結果、見学コース22組48名、個人的な撮影コース4組9名、団体2件（夕張中学校、南南空知学校事務職員研修）、見学総数72名でした（商用利用はなし）。昨年と比べるとほぼ半数減、コロナ禍以前の2019年と比較すると8割減となりました。来訪者の方よりもお断りをされる方のほうが多かったように思います。

ズリ山

4月29日（木・祝）に緊急メンテナンスを行い、5月22日（土）に清水沢プロジェクトのメンバーと市内在住有志12名で作業を行いました。緊急事態宣言期間中の作業となったため、実施については例年のような公表を行いませんでした。特に市役所の職員のみなさんが多く参加してくれたので、懸案事項であった狭小通路部分の階段再整備やベンチの補修を進めることができました。木材については以前あ・りーさださんから分けていただいたものを使用し、鉄杭については今年も東亜建材工業さんから20本いただきました。

その後7月3日にさつき町内会4名と草刈りを行いました。2011年にズリ山整備を始めて10年経過したということもあり、お礼を兼ねて町内会に燃料代として1万円支出しました。

JR新夕張駅展覧会

1月31日より開催した「夕張駅・三代一時代とともに動いてきた駅一」を継続して展示中です。10月1日が開駅40周年ということもあり、9月27日から10月4日まで、駅改札口とホームにお祝いの飾り付けを行いました。

その他の炭鉱遺産・関係箇所

個人ガイドは視察の1件のみでした。「宮前浴場利用増加プロジェクト」についても大々的には実施しませんでした。

事業経費としては（5）部門に計上しましたが、夕張地域史研究資料調査室の青木室長が主催する「第89回鹿之谷ゼミナール 北炭夕張新炭鉱災害から40周年を迎えて—1981年10月16日から「時」は静かに流れて—」に共催として参加し、清水沢プロジェクトのメンバーがイベント運営の中核を担いました。10月15日、16日の2日間にわたる催事は各日50名の定員がいっぱいになるほどでしたが、つつがなく終えることができました。記憶を受け継ぐ意義と意味、そして私たちがその立場にあることを、メンバーそれぞれが自覚することとなりました。

(2) 地域資源の価値発見、活用による交流人口の増大に関する事業

アーティスト等のサポート、アバディーンとの交流、夕張の記憶ミュージアム、清水沢まちあるき 等

清水沢まちあるきは5月と8月の2回中止し、札幌からの方をお断りして開催することもありました。9月は市民のみとしたため、まちあるきで初めて「ゴミ拾い」を行いました。なかなか面白かったので、年に2回ほど定例化したいと思います。

夕張の交通をテーマに卒業論文の研究を行う立命館大学の竹中琢視さんの受け入れをリモートで行いました。現地入りすることが難しい竹中さんになり、夕張市にアンケート全戸配布の相談を持ちかけたり、郵便局での手続きを代行したりしました。フィールドワークの一環として、9月13日にオンライントークイベントを実施し、市民を中心に7名の参加がありました。竹中さんは卒業論文の

提出後、2月5日にりすたを会場に卒業論文報告会を行いました。感染状況悪化のため、本人はやむなくリモートでの発表となりました。

みんなでつくる夕張の記憶ミュージアム

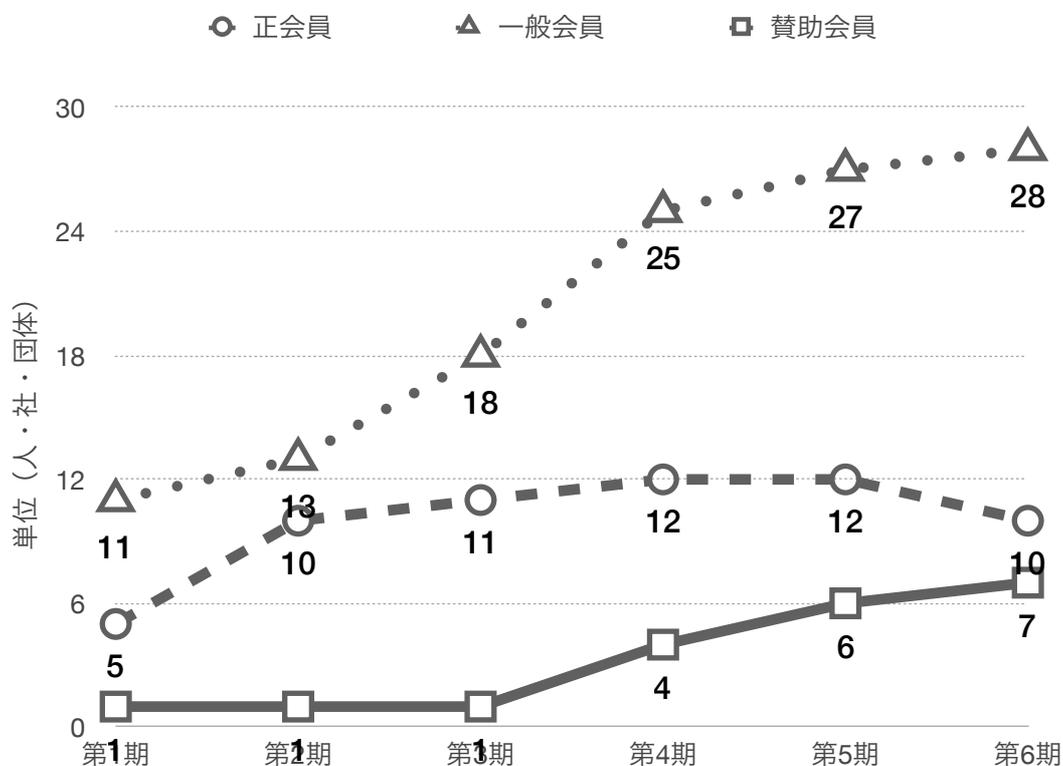
毎月広報ゆうばりに掲載する以外に全く手がまわりませんでした。フェイスブックページの更新も滞りがちとなりました。

アバディーン//夕張プログラム

会員のメイボン尚子さんの尽力により、「トリーエコミュージアムプロジェクト」の「Torry-Yubari Exchange」が進み、9月まで毎月1人ずつ両地の人物紹介をInstagram上で行いました。夕張では10月23日から11月3日まで開催された「夕張市民文化祭」に出展し、40cm四方のタイル状に24名の写真と参加者自身の撮影による風景写真を48点並べました。トリーではオールド・トリー・コミュニティ・センターで11月6日に開催された「Torry Ecomuseum Project Celebratory Open Day」で展示が行われました。

(3) 炭鉱遺産・地域資源の価値増大に資する施設等の運営事業

清水沢コミュニティゲートの運営



2020年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電気	4,738	3,824	3,871	4,906	4,916	4,165	4,930	3,589	5,918	9,335	5,453	5,273	60,918
水道	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	121,920
浄化槽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
灯油・ガス	5364	4,796	4,796	4,796	7,506	4,796	4,796	7,506	5,089	16,943	17,666	4,796	88,850
2019年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電気	11,460	7,112	7,004	7,692	8,528	7,463	6,843	6,465	7,219	5,559	6,567	7,477	89,389
水道	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	10,160	10,160	120,080
浄化槽	2,800	2,800	2,800	2,800	0	0	0	0	0	0	0	0	11,200
灯油・ガス	5,264	30,657	4,802	5,554	5,173	6,094	6,187	5,262	5,653	5,939	22,960	5,481	109,026

4) まちづくり活動を統括する清水沢エコミュージアム全般に関する事業

エコミュージアム等まちづくり活動全般、広報 等

設立以来3つ折りで制作していたパンフレットを、観音開き版に改訂して制作しました。清水沢プロジェクトの活動紹介を強め、地域と炭鉱遺産の紹介、コミュニティゲートの紹介は充実したまま、マップの生活道路を大幅に間引き、地域の生活環境を守り節度ある観光を求める内容としました。

また、一度これまでの清水沢エコミュージアムの歩みをまとめて発表したいと思い、日本エコミュージアム研究会の全国大会（オンライン）で発表を行い、報告として「エコミュージアム研究 No.27」への投稿を行いました。大きな反響や突っ込んだ意見があったわけではありませんが、専門家の先生方から客観的な評価を得ることは、活動にプラスとなると考えます。今後も研究会や適切な学会への参加を通じ、関係性を作っていきたいと考えます。

(5) 地域活動の活性化支援事業

町内会、他の団体、施設の活性化 等

実行委員会主催のコミュニティゲートでの「こども食堂」の再開を地域おこし協力隊にミッションとして与えましたが、コロナ禍の状況悪化により実施することができませんでした。狭いコミュニティゲートでの開催は、今後難しいかもしれません。

佐藤個人名義ではありますが、宮前町内会の顧問となりました。また2月より、清栄生活館運営委員会の委員長となり、生活館の運営を任されるようになりました（新年度から清栄町さつき町内会でも顧問となります）。2008年に活動を始めて以来、地域の一員としてのふるまいを何よりも大切に

に考えてきたので、大変感慨深いです。加えて開館から1年が経過した「りすた」へのグランドピアノ設置請願運動に呼びかけ人として加わったことから逆説的に、「りすたにすべて集中してもよいのか」と疑問を持つに至りました。徐々に南清水沢への都市機能集約が進む中で、安い・便利・暖かいりすたが市民から支持を得ることは歓迎されるべきことですが、各地区の生活館・集会所、コミュニティゲートのような民間コミュニティ施設の活力が失われては、それぞれの地区に暮らす人々の生きがい喪失にもなりかねません。各地区の活力、よりどころの維持のために、私たちの拠点である宮前町・清栄町での文化活動推進に立ち返りたいと考えています。

(6) 地域情報の受発信、物販、喫茶・飲食に関する事業

物販、ホームページ、制作物等

庄子喜隆さんの写真集などの書籍が時々売れる程度で、クリアファイルなどの新商品も埃を被ったままです。オンラインストアの充実を図る必要があります。なお毎年12月に新作を制作している清水沢プロジェクトオリジナルポストカードは、5種類まで増えたということもあり、今年度の制作は見送りました。

今年度、夕張市地域振興課農林係より市民講座のチラシ制作の依頼を受け、4種類制作しました。読み聞かせサークル「ひなたBOOK★」のチラシなど対価をいただかない制作物もいくつか制作しており、少しずつでも実績を積んで収益に結び付けられるようになればと思います。

7) 次世代に地域の誇りを継承する事業

子ども・子育て支援部門地域おこし協力隊支援事業、こども食堂、ハルニレプロジェクト・森の輪 等

夕張市地域おこし協力隊（子ども・子育て支援部門）支援業務

4月1日、地域おこし協力隊（子ども・子育て支援部門）支援業務を受託しました。「夕張市における子ども・子育て支援の充実を目的とした『地域おこし協力隊事業』の実施にあたり、その隊員の支援業務を、子育て支援、地域おこしの支援、地域再興に係る地域力の再生・維持・強化に関する活動などを目的とした団体（支援機関）に委託する」という事業で、これまで夕張市の会計年度任用職員の身分で活動していた「地域おこし協力隊」を委託事業者である当法人が雇用し、子ども・子育て支援分野を中心とした活動を行う、そのマネジメントを最大3年間行うというのが業務の内容となります。すでに3月より地域おこし協力隊として活動している細井百（ほそいもも）を、4月1日の契約後にそのまま引き継ぎ、自己都合により10月に退職するまで、各関係機関のニーズ把握と支援、SNSなどでの情報発信、りすた「ゆうぱりっこひろば」の装飾等利用促進等などに尽力してくれました。本人のヒアリング調査によると各機関の課題は深刻な人手不足で、特に各園の行事の際は他の協力隊員や社会福祉協議会の生活支援コーディネーターを誘ってサポートを行うなど精力的に活動しました。隣の栗山町の協力隊員との交流を行い、視察の受け入れや活動紹介のプレゼンテーションも立派にこなしました。退職前には活動報告会も実施することができました。

やむを得ない自己都合退職とはいえ、1年に満たない活動期間であったため特別交付税措置が行われず、市には大変なご迷惑をおかけしてしまいました。またこれ以降新たな協力隊員の応募がなく欠員状態が続き、事業自体も一度途切れてしまうことになりました。

ハルニレプロジェクト・Yubari WOOD START プロジェクト・森の輪（わっこ）

記念オブジェを兼ねた滑り台は、3月22日に丘の上こども園を運営する社会福祉法人夕張保育協会様に寄贈を行いました。子どもたちにはなかなか好評のようです。作家の櫻井亮さんには、1年半もの間悪戦苦闘しながら制作いただき、心から感謝しています。今後もメンテナンスのため櫻井さんには5年間定期的に点検していただきます。寄附者の方々への報告書類がまだ完成していないので、早急に取り組みます。

ハルニレプロジェクトで伐採した樹木のうち、エゾヤマザクラを使用した「森の輪」の乳幼児健診時の配布は3年目となりました。また、今後市の事業などで利用の予定があり、未来の子どもたちに引き継ぐという目的は順調に達成されつつあります。

(8) 地域資源を活用したまちづくりに関するコンサルティング・シンクタンク事業

研究サポート、講演、コンサルティング 等

オンライン講演（北海学園大学、子供の居場所づくりワークショップ）や、天神山アートスタジオのヒアリングなどで活動を紹介する機会がありました。

第6期（2021年度）決算

貸借対照表

2022年3月31日現在

一般社団法人清水沢プロジェクト(事業全体)

単位:円

資産の部		負債の部	
科 目	金額	科 目	金額
流動資産		流動負債	
現金預金	2,969,382	未払金	2,020,019
売掛金	14,500	未払費用	3,160
立替金	△ 5,195	未払法人税等	80,000
預け金	879,422	預り金	7,971
流動資産合計	3,858,109	流動負債合計	2,111,150
		負債合計	2,111,150
		正味財産の部	
		科 目	金額
		一般正味財産	
		前期正味財産	2,373,783
		当期正味財産増減額	△ 626,824
		正味財産合計	1,746,959
資産合計	3,858,109	負債及び正味財産合計	3,858,109

科目	決算額		内訳									備考
			1炭鉱遺産の保存・活用・普及啓蒙・学術教育・調査研究に関する事業	2地域資源の価値発見、活用による交流人口の増大に関する事業	3炭鉱遺産・地域資源の価値増大に資する施設等の運営事業	4まちづくり活動を統括する清水沢エコミュージアム全般に関する事業	5地域活動の活性化支援事業	6地域情報の受発信、物販、喫茶・飲食に関する事業	7次世代に地域の誇りを継承する事業	8地域資源を活用したまちづくりに関するコンサルティング・シンクタンク事業	9前各号に掲げる事業に付帯又は関連する事業	
経常増減の部												
経常収益												
正会員受取会費	90,000											90,000
一般会員受取会費	57,000											57,000
賛助会員受取会費	70,000											70,000
受取寄附金	201,900		2,000	13,200								186,700
受取助成金	0											
売上高	2,984,366		128,650	7,000			150,696	2,563,820	134,200			
雑収入	1,464,147											1,464,147
受取利息収入	28											28
経常収益計	4,867,441	4,867,441	130,650	20,200	0	0	0	150,696	2,563,820	134,200	0	1,867,875
経常費用												
仕入高	17,355							17,355				
役員報酬	1,104,000											1,104,000
給料手当	1,703,202							1,703,202				
法定福利費	424,233							259,967				164,266
福利厚生費	16,905							5,577				11,328
租税公課	50,500											50,500
修繕費	7,000											7,000
水道光熱費	252,723				252,723							
諸会費	22,062					7,800						14,262
荷造運賃	1,188							1,188				
車両費	252,551		2,493									250,058
支払報酬料	250,168			5,000								245,168
旅費交通費	12,904		440		195			10,099				2,170
地代家賃	278,600							278,600				
雑費	101											101
雑給	0											
交際費	5,000											5,000
研修費	22,160							21,660				500
外注費	169,050								169,050			
広告宣伝費	89,830		6,109			13,580			22,056			48,085
会議費	55,183		17,236	1,950			4,171		4,274			27,552
通信費	133,150				109,145				6,720			17,285
消耗品費	246,251		44,874	6,264	65,065		14,968	3,766	64,640			46,674
新聞図書費	48,595								5,720			42,875
支払手数料	201,984		615	9,812		47	5,666		34,115			151,729
保険料	24,130		2,100									22,030
寄付金	25,440			25,440								
減価償却費	0											
経常費用 計	5,414,265	5,414,265	73,867	48,466	427,128	13,627	32,605	22,309	2,585,680	0	0	2,210,583
法人税、住民税及び	80,000											
当期正味財産増減額	△ 626,824											
前期繰越正味財産額	2,373,783											
次期繰越正味財産額	1,746,959											

(単位 円)